

霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画（第9期）の策定状況

1 霞ヶ浦専門部会における審議状況

- ・ 「霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画（第9期）」（以下、「第9期計画」という）の策定について、令和7年9月8日に環境審議会へ諮問し、現在、霞ヶ浦専門部会においてその内容を審議しているところ（これまでに計5回開催）。
- ・ 霞ヶ浦専門部会では、これまで、「霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画（第8期）」（以下、「第8期計画」という）における水質状況や各種施策の実施状況、第9期計画の策定方針や施策の内容等について審議。

＜霞ヶ浦専門部会における審議経過＞

年 月 日	内 容
R7. 9. 8	令和7年度第1回環境審議会（諮問）
R7. 9. 25	令和7年度第2回霞ヶ浦専門部会 ・ 霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画（第9期）の策定について ・ 第8期計画期間中における霞ヶ浦の水質状況について ・ 第8期計画期間中における施策実施状況について ・ 第9期計画における水質予測モデルの概要について
R7. 11. 26	令和7年度第3回霞ヶ浦専門部会 ・ 霞ヶ浦ふれあい指標の検討状況について ・ 第9期計画における霞ヶ浦への排出負荷量の算定方法について ・ 第9期計画における水質予測モデルについて
R8. 2. 3	令和7年度第4回霞ヶ浦専門部会 ・ 水質浄化対策による排出負荷の削減効果について ・ 霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画（第9期）の策定方針について ・ 第9期計画における水質予測モデルについて ・ 第9期計画における霞ヶ浦ふれあい指標について
R8. 5. 13	令和8年度第1回霞ヶ浦専門部会 ・ 霞ヶ浦の水質概況について ・ 第8期計画における施策実施状況について ・ 霞ヶ浦ふれあい指標の令和7年度評価結果について ・ 第9期計画における水質予測モデルについて
R8. 7. 31	令和8年度第2回霞ヶ浦専門部会 ・ 霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画（第9期）について（骨子等） ・ 第9期計画における水質予測モデルについて

＜今後のスケジュール＞

- 令和8年10月 …………… 霞ヶ浦専門部会において第9期計画案を審議
環境審議会へ第9期計画案を報告
- 令和8年11月～12月 …………… 公聴会の実施、流域市町村への意見聴取、
パブリックコメント
- 令和9年1月～2月 …………… 霞ヶ浦専門部会において第9期計画最終案を審議
栃木県、千葉県、国交省、環境省との協議
- 令和9年2月 …………… 環境審議会答申
栃木県、千葉県、国交省、環境省との協議
- 令和9年3月 …………… 霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画（第9期）の公表

2 第8期計画における取組状況

(1) 施策の取組状況

- 生活排水対策については、下水道等の整備・接続の推進や高度処理型浄化槽の設置促進、工場・事業場排水対策については、霞ヶ浦一般事業場等（小規模事業所）への重点指導、農地・畜産対策については、良質堆肥の流域外利用等の促進など、浄化効果の高い事業に重点化して水質保全対策に取り組んできた。

<第8期計画における主な施策実施結果一覧>

目標項目	現状 (R2)	実績 (R7)	目標 (R7)	進捗率
下水道接続率	90.9 %	92.1 %	92.2 %	93.5 % ※1
農業集落排水施設接続率	82.8 %	86.2 %	87.3 %	75.6 % ※1
高度処理型浄化槽処理人口	72.7 千人	88.4 千人	99.9 千人	57.7 % ※1
生活排水処理率	81.4 %	85.4 %	86.3 %	81.7 % ※1
霞ヶ浦一般事業場等への立入件数	733 件/年	711 件/年	1,100 件/年	64.6 % ※2
堆肥の流域外利用等	93.4 千t/年	100.4千t/年	98.8 千t/年	129.9 % ※1

※1 5年累計の目標値に対する進捗率

※2 基準超過事業所に対し複数回の立入検査を実施し、改善に向けた指導をしたことから、延べ立入数(1,661回)としては目標を上回った。

(2) 水質概況

- 霞ヶ浦の2025年度(R7年度)のCODは、全水域平均で7.7 mg/Lとなり、湖沼水質保全計画の目標値(6.9 mg/L)を達成しなかった。近年は7 mg/L 台で推移している。
- 全窒素は、全水域平均で0.94 mg/Lとなり、湖沼水質保全計画の目標値(0.88 mg/L)を達成しなかった。長期的には横ばいで推移している。
- 全りんは、全水域平均で0.089 mg/Lとなり、湖沼水質保全計画の目標値(0.095 mg/L)を達成した。長期的には横ばいで推移している。

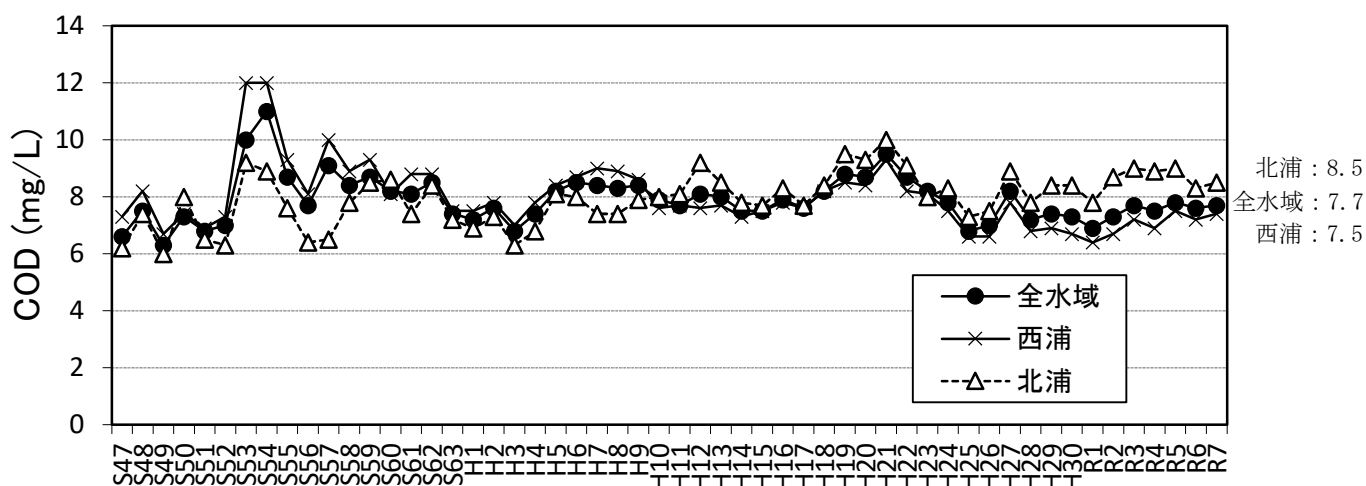


図1 COD (年平均値) の推移

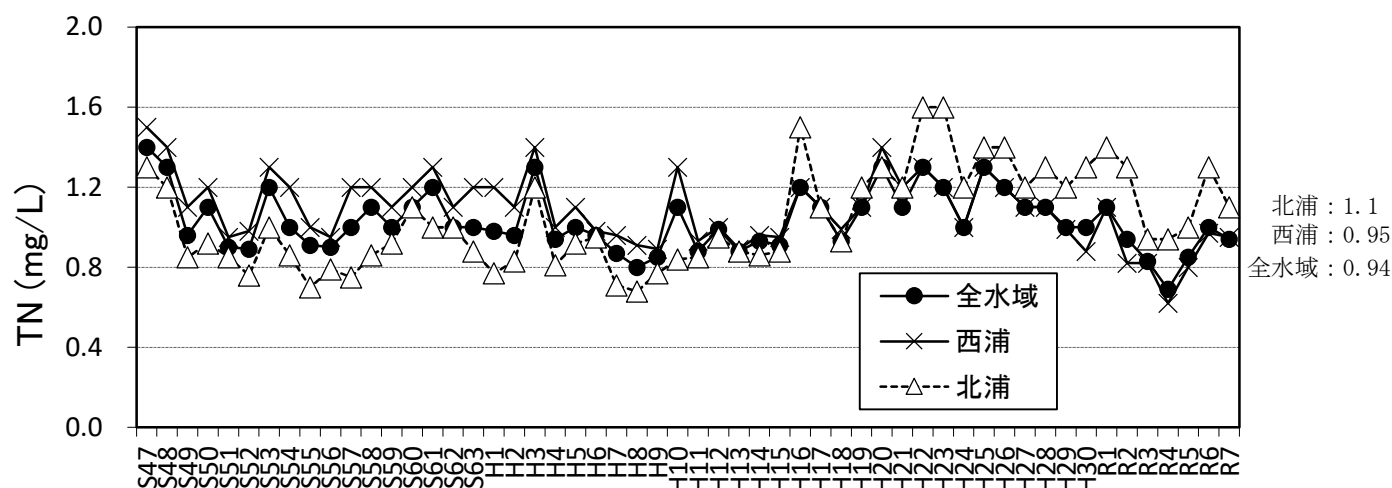


図2 全窒素（年平均値）の推移

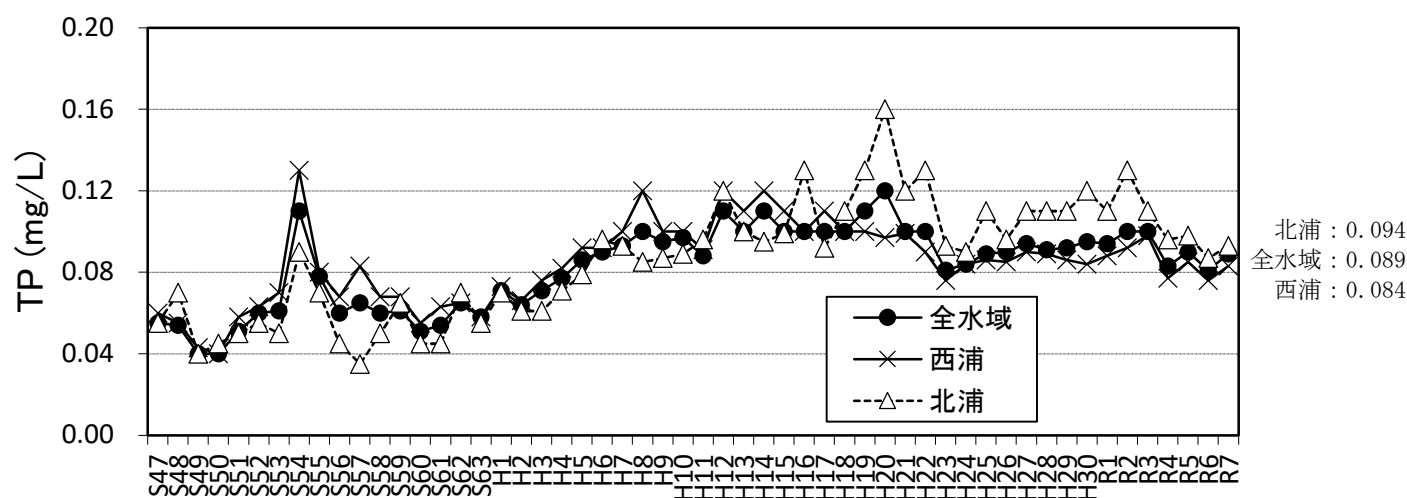


図3 全りん（年平均値）の推移

3 第9期計画の骨子

(1) 湖沼の水質の保全に関する方針

霞ヶ浦のCOD（令和7年度）は、全水域平均で7.7 mg/Lであり、十分な水質改善には至っていないことから、長期ビジョンである「泳げる霞ヶ浦」及び「遊べる河川」を、第10期計画以降、できる限り早期に実現できるよう、COD、全窒素、全りんについて水質目標値を定め、着実に汚濁負荷の削減を進め、霞ヶ浦の水質浄化を図っていく。

また、「いばらき霞ヶ浦宣言 2018」を踏まえ、豊かな霞ヶ浦を次世代へ継承するための対策に取り組むとともに、県内外の方に霞ヶ浦の豊かさを実感してもらえるよう、「霞ヶ浦ふれあい指標」の評価結果を発信していく。

(2) 湖沼の水質の保全に資する事業

西浦と北浦では、生活排水の処理状況や汚濁負荷の流入状況などが異なることから、両水域ごとに目標値等を設定し、下水道、農業集落排水施設、浄化槽等の整備、湖内対策に取り組む。

	主な内容
下水道、農業集落排水施設、浄化槽等の整備	・下水道や農業集落排水施設の整備・接続推進 ・高度処理型浄化槽の設置、単独処理浄化槽からの転換
湖内対策	・霞ヶ浦導水事業の促進 ・流入負荷抑制施設の整備（巴川河口の北浦湖内） ・自然浄化機能を活用した浄化対策

(3) 湖沼の水質の保全のための規制その他の措置

ア 水質浄化対策

西浦と北浦では、水質汚濁の要因が異なることから、浄化効果が高い工場・事業場排水対策、畜産対策、農地対策、漁業対策については、両水域ごとに目標値等を設定して取り組む。

	主な内容
生活排水対策	・水環境にやさしいライフスタイルの推進
工場・事業場排水対策	・霞ヶ浦一般事業場等（小規模事業所）への重点的な立入検査
畜産対策	・家畜排せつ物の適正な管理と利用 ・良質堆肥の流域外利用等の促進
農地対策	・減肥技術などの活用による環境にやさしい農業を推進 ・土壌診断に基づく適正施肥の指導
漁業対策	・未利用魚の回収 ・環境に配慮した養殖の実施
その他	・霞ヶ浦及び流入河川の水質状況の把握（関係機関による水質測定等） ・アオコ対策（国、県及び関係市が連携した監視パトロールの実施及び発生抑制や回収等） ・霞ヶ浦環境科学センターと関係機関との連携による調査研究の推進

イ 豊かな霞ヶ浦の次世代への継承

豊かな霞ヶ浦を次世代へ継承していくため、湖内の水質改善に加えて、健全な水循環の維持や良好な自然環境の創出に向けた対策に取り組む。

主な内容
・森林の保全・整備、創出 ・緑地の保全その他湖辺の自然環境の保全 ・地域住民等に対する知識の普及と意識の高揚（湖上体験スクール等）

ウ 霞ヶ浦ふれあい指標による評価

霞ヶ浦により親しみをもってもらうとともに、豊かさを実感してもらえるよう、霞ヶ浦の現状を「感覚による評価」と「豊かさの評価」で評価し、それらの評価結果を組み合わせた「霞ヶ浦ふれあい指標」を、県内外に分かりやすく発信していく。